



たづがね

(鵺が音)

2月1日発行



「笑顔いっぱい」「元気いっぱい」「夢いっぱい」の西北台っ子 普通にできる喜び

気がつけばもう2月です。無我夢中で過ごした1月でした。1月26日に授業参観・学校説明会・学校評議員会そして、延期にしていたPTA三役会を無事に終えることができました。何人もの保護者の方から当たり前に授業ができていることに感謝していただきました。掲示物にも多くの方が目を向けてくださり、職員も日々頑張っている甲斐があります。評議員さんからも、大変温かい励ましのお言葉を頂きました。こういう時だからこそ、人と人の繋がりやほんの少しの言葉にも深みを感じ、心が癒やされます。まだまだ職場が大変な方もいます。本校に奥能登から学びに来ている児童もいます。日々の生活を本当に大切にしながら学びを進めていきたいと思えます。

今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。



令和6年度予定されている複式学級について

9月にも説明させて頂きましたが、1月26日にはさらにくわしく説明をいたしました。主な内容は下記に示します。

○令和6年度の予定児童数 (R6.1.31現在)

1年	2年	3年	4年	5年	6年	つばさ
5名	5名	9名	8名	18名	7名	1名

2・3年が複式学級になる予定 (16人以下のため)

○複式学級は、一つの学級であるため、学級担任は一人です。

○教室も現3年教室を2・3年教室とします。(机も14名分入れます。)

ただし、2年生と3年生が別々に授業するときは、現2年教室を2年生が使用し、3年生が現3年教室を使用します。

○メリットとデメリットがあります。

★大きな課題は、授業者が1名なのに、同じ時間に2学年が違う内容を学習するときです。45分間で児童だけで学習を進めなくてはいけない時間があります。学習の定着のために今からどんな力が必要なのか。保護者の方にも理解していただきたいと思っております。学校説明会の時間に保護者全員に参加していただくことが難しかったので改めて別紙(2月1日付)でお知らせいたします。